



Fore Please / 世界ゴルフ

識聞録

ゴルフビジネスのプロが30年以上回って見て聞いて感じた
世界のゴルフ文化をお届け。
今回は先日亡くなったアーノルド・パーマー氏について。

**スーパースターとの
出会いは1989年。**

あの傘のトレードマークの入った白靴下は、私の高校時代にも、校則ギリギリの人気商品でした。当時、日本でも知らない人はいないほどのスーパースターであり、傘のマークと彼のサインの入ったあのロゴは、ゴルフ好きな方に限らず知っていましたし、身に着けることが憧れだった時代でした。

マスターズの初日、恒例のオナラリースターターを務める彼の独特なサインングを見て、いよいよ始まるマスターズにいつも興奮しました。しかし今年、車椅子で姿を現した彼の様子は去年までとは全く違っていました。それを見て、涙を流すグリーンジャケットを着たメンバーを私は忘れることができません。

そんなスーパースター、パーマー氏との最も印象深い思い出は、1989年に当社が米シニアトーナメントの大会を日本で開催した時のことです。当時パーマー氏は、マスターズ以外のレギュラーツアー出場試合はありませんでしたが、シニアツアーに参戦し大変盛り上げていました。それで、当社で企画していたグラントスラムという大会に参加していただいたのですが、同時にコマースシャル撮影などがあり、終日一緒に過ご

したことを思い出します。彼の来日手配からはじまり、コマースシャルの打ち合わせ、クライアントとの食事やトーナメントなど、滞在中嫌な顔一つせずこなしていただいたのは、私のような経験の少ない者にとっては素晴らしい機会であり、そして、本

Vol.36

逝去した
スターとの思い出

**熱狂的ファンをも日本へ
招待した愛情の深さ。**

当時の招待の条件で、ファーストクラスでの移動2名分が契約に含まれていました。が、到着したパーマー氏はマネージャーのジョンソン氏と数人の友人など総勢6名ほどで税関から出てきました。当然、2名分しか迎える車は用意していませんでしたので、タクシーを急遽手配してご案内しました。「せっかく日本に行くのだから……」と、パーマー氏が友人たちを招待したのですが、後で聞いたらデビュー当時のサポーターで、「アーニー・ズアーミー」と呼ばれていた熱狂的なファンの方だったとか……！ また、大会の期間中にはチャリティーオークションとして、各選手にボールやグローブを提供してもらったのですが、パーマー氏は自ら使っているサンドウェッジを

**あらゆる人に
アーノルド・パーマーが
愛された理由**



提供してくれたほど、ファンの方を大切にされていた。

そんな事もあり、毎年マスターズでパーマー氏やその友人の方とお会いするのが恒例行事になっていて、たままた一行に呼ばれ食事を一緒にすることがあります。その時に、本連載でも以前ご紹介したアイステイヤーとレモネードの「アーノルド・パーマー」を、パーマー氏がオーダーする場面を見ました。担当者に、「アイステイヤーとレモネードの……」と頼み、係が「アーノルド・パーマーですね？」と聞き返し、それにニコツとして「Yes I am.」と答える彼は、とてもお茶目でした。豊かな表情であらゆる人に愛され続けたパーマー氏、安らかに眠りください。そして、素敵な思い出をありがとう！

ゴルフビジネスの
プロフェッショナル
神野方仁 (じんの・みちひと)



1956年生まれ。テレ・プランニング・インターナショナル株式会社・代表取締役社長。国内外のさまざまなスポーツビジネスに関わり、中でもゴルフはマスターズのようなメジャー大会からジュニアゴルフに至るまで、イベント、放送、広告、マーケティングなどの面に長年携わっている。日記を公開中 Fast Track Michi's Diary: www.tpi-j.co.jp/ceo_blog/

イラスト／ソリマチアキラ